



「はだか。」 M.K

高濱浩子

「アートの日間」 心の記録

～病院における「トラウマ インフォームド ケア」プログラムより～

2023 年 9/23 (土) ～ 11/10 (金) 会期中無休 観覧料金無料
月～土 9:00 ～ 18:00、日・祝 9:00 ～ 17:00

会場：甲南大学ギャラリー・パンセ

協力：田口奈緒（兵庫県立尼崎総合医療センター 産婦人科），大岡由佳（武庫川女子大学）

高濱浩子「アートの時間」心の記録

2023 年 9 月 23 日(土)

～11月10日(金) 会期中無休

～病院における「トラウマ インフォームド ケア」プログラムより～

甲南大学では毎年、国内外で活躍する美術家を招いて展覧会を行っています。この展覧会の企画・運営は、博物館実習生が中心となって取り組んでいます。今年は、神戸を拠点に世界各地で展覧会・ワークショップを展開するアーティストの高濱浩子（たかはま・ひろこ）氏をお招きし、高濱氏が 2018 年から兵庫県立尼崎総合医療センターで取り組んできた、アートによる「トラウマ インフォームド ケア」のプログラム「アートの時間」を紹介する展覧会を開催いたします。

兵庫県立尼崎総合医療センターにて産婦人科医、田口奈緒氏の発案により 2018 年から始まった試み「トラウマ インフォームド ケアプログラム（アート、ヨガ、音楽）」は、コロナの影響をうけた 2020 年以降はオンラインで継続し、これまでのべ 400 名以上の患者さんやご家族の方、病院スタッフが体験しました。今展覧会では、患者として、患者の家族として、医療従事者として、外部関係者として、アートプログラムに参加した方々が語られた「ひとりの人」としての物語を、絵と言葉でご紹介します。併せて、ファシリテーターである高濱浩子氏の記録もご覧いただけます。

＊TIC（トラウマ インフォームド ケア）とは、

トラウマとよばれる「心的外傷」が人々に与える影響を理解し、当事者と支援者が安全感と人とのつながりを取り戻すための多面的な取り組みをさします。



1



2



3



7



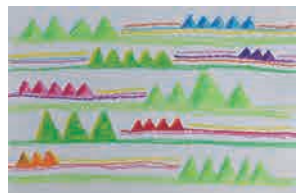
4



5



6



8



9



＊「アートの時間」ファシリテーター
高濱浩子（たかはま・ひろこ）

画家・アーティスト。1969 年神戸生まれ。美術学校で日本画を学んだ後、平面に限らず作品を発表。1995 年（25 歳）阪神淡路大震災での体験をきっかけに人間の命とアートについて考え始める。2008 年（39 歳）でインドに渡り、詩人ラビンドラナート・タゴールが開いた大学に 1 年留学、ベンガル地方の農村部に暮らしながら先住民の村を訪れ、原始的な営みに息づくアートに興味を持つ。2011 年（42 歳）スペインにて外尾悦郎氏（サグラダファミリア贖罪聖堂彫刻家）に学ぶ。現在、絵を描く他、アートワークショップのファシリテーターを国内外で務める。2022 年より、甲南大学文学部非常勤講師。

トークイベント「トラウマのケアとアートを巡って」

10 月 22 日（日）14：00～15：30

ゲスト

高濱 浩子（出演作家）

田口 奈緒（兵庫県立尼崎総合医療センター産婦人科部長、
NPO 法人性暴力被害者支援センター・ひょうご理事）

聞き手

服部 正（甲南大学文学部）

会場 甲南大学 5 号館 1 階 511 教室（ギャラリー横）

予約不要・聴講無料

- 1.「ママと赤ちゃんを想って」Y
- 2.「奄美大島とわたし」みいぶう
- 3.「愛する家族との日々♡笑顔が溢れる毎日になりますように…」アリエルミニー
- 4.「私の生きていい訳」M.K
- 5.「三代目、チョッチー（11 ヶ月）」福岡ともみ
- 6.「いやし 旅・友・Love」がん患者サロン 看護師
- 7.「しずく」2525
- 8.「山にいたい遠くにいたい」（左）ちょも ちょもさんと共に描く。「無題」（中）Yoki ちょもさんと共に描く。「無題」（右）高濱浩子
- 9.「犬のさんぽ」（左）みいちゃん（子） 「大きな空へ」（右）ようちゃん（母）

甲南大学ギャラリー・パンセ（甲南大学 5 号館 1 階）

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

阪急神戸線岡本駅より西へ徒歩10分、JR 神戸線摂津本山駅北口より北西へ徒歩 12 分

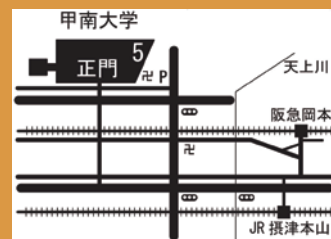
※駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。

お問い合わせ先

078-435-2572（担当教員：服部）

078-435-2675（文学部事務室）

Galerie
Pensee
ギャラリー・パンセ



「アートの時間『病人』ではなく、ただ『絵を描く私』だった」